

研究目的

本研究の目的は、青森県八戸市地区の主たる病院看護部と連携し、高齢者の機能低下を最低限にするための看護と看護の連携にどのような課題があるか、また、課題の解決方法として何が提案できるかを検討することです。

研究結果1「連携の課題」

連携の課題を見出し、お互いの施設を知るために、見学交流する事業を行いました。その後の看護師へのインタビューから、以下のような連携の課題が見出されました。

①地域医療構想の住民への周知、②制度に乗るための手続き、③制度の違いによる施設間連携の困難、④多職種連携、⑤地域連携パスの推進、⑥医療処置とその後の生活のインフォームドコンセント、⑦必要十分な情報の伝達、⑧ケアの共有・統一化

研究結果2「思いを繋げる看護サマリー」

見出された課題の中から、情報の流れに着目し、施設間でやり取りされている患者情報のサマリーを見直しました。患者や家族、そして看護師等の医療者のケアする思いを繋げ、情報の重複を最小限にしたサマリーを作成しました。